

生活支援

1 実施状況

- ① ノーリフトの推進：床走行式リフター・低床電動ベッドの導入により利用者の安全、安心、安楽な環境を整備するとともに、職員の腰痛対策・予防につなげることができた。
- ② 便秘解消と自然排便を促す排便ケアの取り組みを全職種が連携して進めているが、まだ成果を出せるまでに至っていないため、来年度も継続して行う。
- ③ 日中活動に多くの利用者の方が参加できるようトランプ、花札、オセロ等組み入れたところ、参加者が増え楽しまれていた。今後さらに幅を広げ取り組んでいく。
- ④ 今年度も青森県愛護協会の協力によりアニマルセラピーを開催し、動物と触れ合い、楽しいひと時を過ごすことができた。
- ⑤ 職場外研修の他、職場内研修として「勉強会」を行うことにより、職員個々のスキルアップとより質の高い利用者支援を目指して取り組むことができた。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	928	957	901	912	946	927	958	929	957	951	889	961	11,216	934.7	113
入院日数	0	0	27	49	4	1	3	0	0	1	6	0	91	7.6	▲63
外泊日数	2	4	2	0	11	2	0	1	4	4	4	0	34	2.8	▲5
稼働率	103.1	102.9	100.1	98.1	101.7	103	103	103.2	102.9	102.3	102.2	103.3		102.2	
生活介護	682	713	663	696	712	682	713	682	713	713	651	713	8,333	694.4	82
稼働率	103.3	103.3	100.5	100.9	103.2	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3		102.9	
在宅利用	2	2	1	2	2	4	4	2	3	0	1	2	25	2.1	▲40

※ 在宅利用：在宅からの生活介護利用者

② 年齢

年齢 性別	18~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計	平均
男	0	4	2	6	5	2	2	0	21	55.8
女	0	0	1	1	2	3	2	1	10	63.0
合計	0	4	3	7	7	5	4	1	31	58

③ 身体障害者手帳障害等級

年齢 性別	1級	2級	3級	合計
男性	18	3	0	21
女性	7	3	0	10
合計	25	6	0	31

④ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	黒石市	つがる市	平川市	中泊町	鶴田町	深浦町	外ヶ浜町	蓬田村	合計
男性	2	1	4	1	6	0	3	2	0	1	1	21
女性	1	0	2	0	1	1	3	1	1	0	0	10
合計	3	1	6	1	7	1	6	3	1	1	1	31

⑤ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
H29年度	0	0	0	0	1	0	2	0	3
H30年度	0	0	0	0	0	0	0	1	1
R1年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	1	0	2	1	4

⑥ 在所期間の状況

期間 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	合計
	男性	0	3	2	3	3	
女性	0	1	1	1	2	5	10
合計	0	4	3	4	5	15	31

⑦ 障害支援区分

区分 性別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
	男性	0	0	0	0	4	
女性	0	0	0	0	2	8	10
合計	0	0	0	0	6	25	31

平均障害支援区分 5.81

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者の短期入所事業及び介護保険法による基準該当短期入所（中泊町）を7床の定員で行っている。今年度は延べ1,742人の利用、前年比114人減でした。

2 利用状況（延べ日数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障がい者	120	136	110	97	110	150	175	145	149	142	161	186	1,681
高齢者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	29	30	61
合計	120	136	110	97	110	150	175	145	149	144	190	216	1,742
稼働率	57.1	62.7	52.4	44.7	50.7	71.4	80.6	69	68.7	66.4	93.6	99.5	68.1

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の中の一つのサービスで、日中障害福祉サービス事業所、障害者支援施設において、障害者等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等を目的とするもので、中泊町と1名の契約をしているが今年度の利用はなかった。

2 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

医務

1 実施状況

- ① 嘱託医による年 2 回の定期健診の実施
- ② 中泊町健診・結核検診・婦人科検診の実施
- ③ 感染予防対策の実施・マニュアルの再確認
- ④ 職員の健康管理への助言

2 評価

- ① 令和元年度、入院は 6 名。入院延べ日数 107 日で前年より 41 日の減少となっている。入院人数は前年度より減少みられないが、日数は減少している。
- ② 高齢化と障がいの重複により病気に対する抵抗力が低下してきている利用者が増えている。病気を発症・再発をすると急速に重症化しやすい傾向にある。そのため、今後も速やかな治療ができるよう早期発見・早期受診に努め、長期の入院の予防につなげたい。
- ③ 感染症に関しては、風邪症状を発症する方が数名いたが、インフルエンザに罹患する利用者はおらず、職員及び職員の家庭内で感染症の発生がみられた、が施設内に持ち込まれることなく利用者への感染もなく予防できた。今後も感染症が発生しても最小限にとどめるよう努力し、感染症を施設に持ち込まないことと感染拡大の予防を徹底していく。
- ④ 職員の健康管理について、健康診断の受診を促し、要再検査項目については助言し体調管理に努めた。体調不良による休養等があったが当事者の状況把握に努め、適切な助言ができるよう努めた。今後も継続していきたい。

機能回復訓練「理学療法」

実施状況

① 機能回復訓練

月 1 回の整形外科医 川口宏二氏、理学療法士 石川孝幸氏が来園して行う診察、指導、助言をもとに、月曜日から金曜日（午前、午後）までは専従の上田法訓練士と補助員、土曜日と日曜日は福祉課職員の協力を得ながら主に上田法の施行を個別支援計画に沿って実施した。参加人数は利用者 23 名、ショートステイ利用者 4 名。上田法の実施によって過緊張を和らげ、関節可動域の拡大、腹部膨満の緩和、各関節拘縮予防効果がみられた。

- 川口先生の診察：延べ 113 名のうち車椅子等書類作成 10 名、職員の腰痛検査 81 名
- 石川理学療法士：延べ 18 名

② 補装具・自助具

各補装具の故障や破損、日常生活機能の変化等による補装具の購入・修理申請等の代行。また、自助具に関する相談、助言の実施。主な補装具は車椅子 31 名、下肢補装具 4 名の利用者が日常生活で使用している。申請は、車椅子・短下肢補装具の購入・修理申請等の代行。

- (1) 新規交付申請：車椅子 1 件、座位保持部品購入 2 名、日常生活用具給付 1 件
- (2) 修理交付申請：車椅子 3 件、下肢補装具 1 件
- (3) 申請以外にも、定期的な座圧測定の施行、各利用者に適したクッション等の購入援助、車椅子ブレーキ、張調整、パンク等の修理施行。
- (4) 移乗時、フットサポートによる下肢の擦れが多くみられるため、全利用者の車椅子にフットサポートカバーを取り付け、擦れ防止に努めた。
- (5) 車椅子部品の劣化等による転落事故が多く発生しているとの事で、業者に依頼してすべての車椅子点検の強化に努めた。

③ 福祉機器及び介護用品

ノーリフトケアの促進、安心、安全な移乗を目的とした福祉機器を使用した。機器のメンテナンス等を定期的に業者へ依頼し不備がないよう管理した。また、腰痛予防のための外部講師による福祉機器講習会の開催等に努めた。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

実施状況

- ① 利用者の要望を取り入れながら、機能に応じた食事形態の提供を行った。
- ② 水分へのとろみ付けの検討と見直しを行い、定期的に一覧表を作り直し、職員への周知を図った。
- ③ 福祉課協力のもと食前体操を継続して行い、また個別・集団訓練にて一人ひとりに合わせた訓練内容を検討して実施し、機能の維持を図った。

給食（内潟療護園）

実施状況

① バイキング食

利用者の嗜好や要望を取り入れたメニュー。年間行事やイベントに合ったメニューで季節を感じられるよう工夫し、バイキング食を楽しんでいただいている。

「実施日」： 毎週木曜日の昼食 「実施回数」： 令和元年度 40回

② 選択食

2種類のメニューから好きな料理を選んでいただき、利用者を選ぶ楽しみが作り出せるように組み込んでいる。（主食・主菜のみ選択）

「実施日」： 毎週火曜日の昼食 「実施回数」： 令和元年度 46回

③ 麺類の提供

「実施日」： 毎週月曜日の昼食

暑さで食欲が落ちてしまいがちな時期には、麺類を1日増やして夏バテ、スタミナ不足にならないよう食事面からサポートしている。

④ 特別食・治療食

利用者の摂食状況、健康状態に合わせた食事の提供をしている。

「特別食」： 一口大食、ミキサー食、刻み食

「治療食」： 糖尿病食、痛風食、高脂血症食、ダイエット食

塩分を控えた食事の提供。だしのうま味を活かした調理で薄味を心がけて減塩に努めている。

⑤ 災害食

非常事態に備え、食材の備蓄、災害時を想定した「災害食体験日」を設け食事の提供を行い、利用者、職員共に災害に対する意識を高めるように取り組んでいる。

「実施日」： 不定期の昼食 「実施回数」： 令和元年度 2回

⑥ 衛生管理

日常	<ul style="list-style-type: none">・衛生手袋、マスクの着用による調理、盛りつけ、検食の保存・冷蔵庫、冷凍庫での温度管理をした食品保存・給食施設内温度、湿度管理をした給食業務・加熱調理時の食品の中心温度管理・調理従事者の毎日の健康、衛生チェック・食品ごとの、まな板、包丁、ボール、ザル等の用具の分別・調理台、配膳台、シンク、床の掃除、取っ手の除菌及び洗浄漂白
週間	<ul style="list-style-type: none">・調理機器、側溝、検収室、勝手口等の清掃及び食器棚、食品庫の整理整頓
月間	<ul style="list-style-type: none">・冷凍庫、冷蔵庫の清掃及び検便
年間	<ul style="list-style-type: none">・サッシ、網戸の清掃及び大掃除・ねずみ、昆虫の駆除

⑦ 行事食

月日	行事	主な料理
4/28	花見	花見弁当(炊き込みご飯、だし巻玉子、エビフライ、アスパラ肉巻き、小松菜胡麻和え、ウインナー、焼売、いちご、桜餅)、豚汁、ジュース、お酒
6/20	中庭昼食会 バーベキュー	牛カルビ、豚トロ、焼き鳥、焼きそば、おにぎり、野菜(玉葱、椎茸) きゅうり浅漬け、ジュース
7/4	七夕 バイキング	七夕そうめん、おいなり、星形ハンバーグ、枝豆ととうもろこしのかき揚げ、卵豆腐 キャベツサラダ、七夕ゼリー
7/15	納涼祭	焼きそば、焼き鳥、フランク、おにぎり、流し素麺、棒パン、アメリカンドッグ、焼き芋、 かき氷、果物(メロン、スイカ、パイナップル)、ジュース、しじみ汁
7/25	土用の丑	うなぎちらし寿司、天ぷら(海老、かぼちゃ、なす)、いんげんピーナツ和え ほたての味噌汁、生和菓子
8/13~15	お盆	13日:赤飯、銀鮭西京漬け焼き、おでん、ほやの水物、パイナップル、しじみ汁 14日:ちらし寿司、筍土佐煮、茶碗蒸し、お吸い物 15日:天ぷら(海老、さつまいも、アスパラ)、豚の角煮、胡麻豆腐、素麺すまし汁 (13日~15日 ジュース、お酒)
9/13	十五夜	さつまいも、かぼちゃ、りんご、梨、ぶどう、マスカット、日本酒
10/3	中庭昼食会 バーベキュー	牛カルビ、豚トロ、牛タン、焼き鳥、さんま、野菜(かぼちゃ、とうもろこし)、きゅうり辛 子漬け、おにぎり、ジュース
10/31	寿司の日 バイキング	にぎり寿司(鮪、鯛、しめ鯖、ウニ、蒸し海老、厚焼き卵)、茶碗蒸し、ミニ海老天そば オクラとみょうがの梅和え、スイートパンプキン
12/24	クリスマス バイキング	ちらし寿司、特大海老フライ、チキンステーキ、ローストビーフ、カップグラタン ナポリタン、ピザ、サーモンマリネ、ジュース
12/26	もちつき	お汁粉、大福餅
12/31	大晦日	昼食:年越しそば(海老天ぷら)、野菜の卵とじ、珈琲ゼリー 夕食:にぎり寿司(海老、鮪、しめ鯖、ウニ、サーモン) おせち(伊達巻き、黒豆、昆布巻き、栗きんとん、かまぼこ、いくら) 煮しめ、なまこ、お吸い物
1/1~3	正月	1日:豚カツ、ニンジンの子和え、キャベツサラダ、粥の汁 2日:ちらし寿司、茶碗蒸し、なます、ホタテの味噌汁 3日:天ぷら(海老、鱈、舞茸)、数の子ときゅうりの和え物、胡麻豆腐、お吸い物 (1日~3日 ジュース、お酒)
2/6	節分 バイキング	海老フライ、温野菜サラダ、五目煮豆、ミニおでん、オクラとシラスの梅和え、漬物 アップルパイ
3/5	ひな祭り バイキング	ちらし寿司、天ぷら(海老、なす、さつまいも、アスパラ)、ホタテ酢味噌和え、はまぐりのお 吸い物、フルーチェ、甘酒

行事・外出・レクリエーション

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	2日	利用者懇談会	18名		17名
	11日	書道クラブ	10名		1名
	18日	ゴミ拾い	1名		1名
	23日	側溝清掃	5名		
	28日	合同花見会	19名	35名	24名
5月	8日	利用者懇談会	18名		19名
	10日	かっぱ寿司外出	2名		2名
	14日	買物外出(金木ノア)	2名		2名
	21日	クレープ作り	32名		2名
	27日	草刈り・清掃	2名		1名
	28日	買物外出(金木ノア)	3名		3名
6月	4日	利用者懇談会	17名		16名
	4日	買物外出(金木ノア)	2名		2名
	13日	書道クラブ	7名		1名
	27日	映画上映会	15名		1名
7月	2日	利用者懇談会	19名		22名
	4日	ホットケーキ作り	16名		3名
	17日	買物外出(エルム)	2名		2名
	20日	夏祭り	29名	34名	30名
	23日	ドライブ外出	2名		2名
	25日	草刈り・清掃	1名		
8月	6日	買物外出(柏ジャスコ)	2名		2名
	8日	利用者懇談会	17名		18名
		書道クラブ	8名		1名
	12日	草刈り・清掃	2名		3名
	20日	ドライブ外出	2名		2名
	24日	沸きつぼ清掃	4名		
	29日	お笑い上映会	6名		1名
	27日	買物外出(金木ノア)	2名		2名
9月	3日	利用者懇談会	15名		17名
	3日	買物外出(エルム)	3名		3名
	18日	買物外出(エルム)	3名		3名
	26日	買物外出(金木ノア)	1名		1名
	28日	ホットケーキ作り	28名		1名
10月	2日	利用者懇談会	17名		18名
	8日	アニマルセラピー	26名		12名
	10日	書道クラブ	6名		1名
	10日	買物外出(エルム)	2名	1名	2名
	17日	買物外出(エルム)	2名		2名
	24日	買物外出(柏ジャスコ)	2名		2名
11月	4日	手工芸	3名		1名
	5日	利用者懇談会	20名		18名
	6日	手工芸	1名		1名
	8日	買物外出(金木ノア)	2名		2名
	12日	内湯喫茶	32名		2名
	12日	買物外出(エルム)	2名		2名
	14日	買物外出(柏ジャスコ)	2名		2名
	18日	手工芸	1名		1名
	19日	買物外出(柏ジャスコ)	1名		1名
	30日	めいせい祭参加	2名		2名
12月	2日	手工芸	2名		1名
	3日	手工芸	1名		1名
	5日	手工芸	1名		1名
	10日	利用者懇談会	18名		17名
	12日	書道クラブ	10名		1名
	16日	手工芸	1名		1名
	18日	手工芸	1名		1名
	21日	手工芸	4名		1名
	23日	手工芸	1名		1名
	24日	クリスマス会	36名	3名	33名
	26日	餅つき会	29名		24名
1月	7日	利用者懇談会	19名		15名
	13日	手工芸	1名		1名
	14日	絵馬作り	5名		1名
	15日	絵馬作り	5名		1名
	16日	絵馬作り	5名		1名
2月	3日	節分	18名		12名
	12日	利用者懇談会	21名		24名
	28日	映画上映会	11名		1名
3月	3日	ひな祭り・内湯喫茶	34名		5名
	3日	利用者懇談会	23名		23名
	12日	書道クラブ	11名		1名

※ その他 「バチンコ 火・木曜日」「カラオケ 土曜日」「余暇活動(トランプ・花札・将棋など)」を実施している

第二うちがた 福祉課

生活支援

1 実施状況

- ① 地域ニーズの把握のため、相談支援事業所との連携のもとに、情報収集・情報提供に努めた。その結果、施設の設備（脱衣場の天井走行リフト）を有効に活用し、他事業所で受け入れ困難なケースの受け入れや、養護学校の実習を積極的に行い、生活介護事業において新規の利用者を増やすことができた。
- ② 個別支援の充実と安心・安全・安楽等基本的なサービス提供の充実を図るため、権利擁護委員会が主体となり第二うちがた職員倫理規定の内容について話し合い、実践されている支援内容について検討することができた。今後も継続していきたい。
- ③ 職員のスキルアップを図るため、研修への派遣とテーマに沿い、職員自らが講師となり職場内研修を実施。また昨年に引き続き外部講師を招き研修を実施することができた。
- ④ 利用者からのニーズが高い医療的ケアの体制を整えるため、青森県で実施している喀痰吸引等研修に 3 名（第 1 号研修 2 名、追加研修 1 名）の職員を派遣することができた。
- ⑤ 看取りケアにおいては、ご家族のご希望に沿い、その人らしく最期を迎えられるよう支援し、1 名の方の看取りを行った。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	907	950	930	950	955	930	959	926	941	938	899	961	11,246	937.2	113
入院日数	22	8	0	0	0	0	2	4	18	20	0	0	74	6.16	▲97
外泊日数	0	0	0	0	4	0	0	0	1	6	0	0	15	1.25	4
稼働率	103.3	103.3	100.5	99.5	102.9	102.9	103.3	100.2	97.3	102.7	97.3	101.4		102.4	
生活介護	790	826	779	838	806	775	828	789	800	798	741	787	9,557	796.4	212
(在宅)	160	160	141	169	136	136	161	151	126	137	142	129	1,741	145	184
稼働率	119.7	119.7	118.0	121.4	116.8	114.4	120.0	119.5	115.9	115.7	117.6	114.1		117.6	

※定員 30 名 ※ (在宅) : 在宅からの生活介護利用者

② 年 齢

年齢 性別	18~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計	平均
男	2	3	2	3	6	1	4	0	21	54.2
女	0	0	2	2	3	1	1	1	11	61.1
合計	2	3	4	5	9	2	5	1	31	56.8

③ 身体障害者手帳障害等級

性別	年齢	1級	2級	3級	合計
男性		21	0	0	21
女性		10	0	0	10
合計		31	0	0	31

④ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	つがる市	鶴田町	深浦町	中泊町	鱒ヶ沢町	外ヶ浜町	藤崎町	合計
男性	1	1	7	5	0	1	0	4	1	1	21
女性	2	0	2	2	2	0	1	1	0	0	10
合計	3	1	9	7	2	1	1	5	1	1	31

⑤ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
H29年度	0	0	0	0	2	0	1	0	3
H30年度	0	0	0	0	1	0	0	0	1
R1年度	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	0	0	0	3	0	1	1	5

⑥ 在所期間の状況

期間 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	合計
	男性	1	1	4	5	10	0
女性	0	1	2	1	6	0	10
合計	1	2	6	6	16	0	31

⑦ 障害支援区分

性別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	0	1	20	21
女性	0	0	0	0	1	9	10
合計	0	0	0	0	2	29	31

平均障害支援区分 5.9

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者・障害児の短期入所事業を 8 床の定員で行ってきた。今年度は延べ 2,118 人の利用があった。前年比 187 人減である。

- ① 施設等への入所希望をし長期での利用が 5 名、在宅で他のサービス（生活介護）と組み合わせ、毎月定期的な利用者が 8 名（入所待機 6 名）とその他になっている。
- ② 入所希望のうち 1 名が施設入所し、1 名が長期入院が必要となりサービス終了となった。
- ③ 長期・定期的な利用者的大半が、日中活動として施設の生活介護、ひだまり工房や他事業所へ通い余暇を過ごし、その人らしい人生を送っている。
- ④ 新規利用相談 4 名の受け入れにも対応した。
- ⑤ 重度心身障害児や医療的ケアの多い利用者についての相談や希望が増えている。
- ⑥ 利用者・家族の利用希望にほぼ沿ったサービス提供ができた。

2 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	170	175	198	198	163	181	187	176	167	166	144	163	2,088
障害児	2	2	4	2	4	4	2	2	2	2	2	2	30
合計	172	177	202	200	167	185	189	178	169	168	146	165	2,118
平均	5.7	5.7	6.7	6.4	5.3	6.1	6.0	5.9	5.4	5.4	5.0	5.3	5.7
稼働率	71.6	71.3	84.1	80.6	67.3	77.0	76.2	74.1	68.1	67.7	62.9	66.5	72.2
うち訪問利用	48	50	58	61	47	50	54	48	43	44	39	42	584

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業「日中一時支援」におけるサービスを提供する。延べ 2 人の利用があった（鶴田町）。弘前市内の児童デイサービスと併用している 1 名のみの利用であった。

2 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害児	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

医務

1 実施状況

- ① 年2回の基本健診、利用者全員の結核検診、年1回の子宮がん検診の実施
- ② 各検診・定期検査を実施し、病気の早期発見・早期治療に努めた
- ③ 感染予防対策の実施・指導
- ④ 喀痰吸引の実施研修
- ⑤ 職員の健康管理についてアドバイス・指導・記録

2 その他

- ① 早期の病院受診により、入院の延べ日数は前年度より97日減少となっている。今後も速やかに治療ができるよう早期発見、早期治療に努め、少しでも長期入院の予防につなげたい。
- ② 喀痰吸引等制度に基づき実施研修を行い3名の職員が取得した。今後も医療的ケア（痰吸引）の取組みに努めて継続していく。
- ③ 感染症に関しては、新型コロナウイルスという新たな感染症の大流行となった。国や県の方針に従い何度となく園長、課長、各主任とで会議を開いて細かいところまで取り決めをし、対応策など感染予防に努めてきた。特に持ち込まれることがないよう県や県外の情報にも注意し、職員や家族などの健康状態、行動などの把握に努めて情報を密にしている。また、利用者にも情報提供して外出、面会を制限し、ストレスを感じているなか一緒に感染予防に努めてもらうことができている。今後も油断することなく継続していく。

機能回復訓練「理学療法」

① 機能回復訓練

一人ひとりの障がいや要望に応じて気軽に参加できる訓練を心がけ、日常生活動作訓練、運動療法を継続的に行っている。月1回、整形外科医 川口宏二氏、理学療法士 石川孝幸氏の診察による指導、助言をもとに、上田法を主体として自動運動や他動運動、上下肢屈伸、歩行訓練などを各部署の協力を得ながら実施。訓練の参加者は32名（施設入所者24名、ショートステイ4名、通所4名）で過緊張や痙縮の緩和や維持に効果がみられ、関節可動域の減少予防等にも効果がみられた。

② 補装具・自助具

補装具の故障や破損、身体機能の変化により補装具の交付申請・修理申請を代行し、自助具に関する相談や助言を実施。主要な補装具は車椅子（電動式を含む）で、現在35名の利用者が日常生活で使用している。主に座布、シート等の張替え、ブレーキ、ステップ、タイヤ交換、シートベルト等の修理申請である。

- (1) 交付申請 車椅子（電動含む） 1件 短下肢装具 1件
- (2) 修理申請 車椅子（電動含む） 21件
- (3) その他 申請以外にも小さな修理や利用者にあった自助具の購入等支援・助言なども行っている。

③ 福祉機器及び介護用品

- (1) 安心・安全な介護と業務の省力化を目的とし、利用者が快適な生活を送ることができるよう介護用品の選定や工夫も行った。
- (2) 福祉機器の定期点検・修理（床走行リフト、コールボタン、PHS等）を随時行った。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

- ① 水分へのとろみ付の検討と見直しを行い、定期的に一覧表を作り直し、職員への周知を図った。
- ② 利用者の咀嚼・嚥下機能別に常食・軟菜食・ソフト食へ分類し、多職種と連携を図り、ソフト食導入に向け取り組んだ。
- ③ 食前体操の継続を行い、訓練は個別訓練を中心に実施し、できる機能の維持に努めた。

給食（第二うちがた）

実施状況

利用者の声を聞き、毎日が楽しみになるような手作りで愛情のこもった食事作りを心がけている。

① 栄養マネジメントの継続

介護・医務・給食の連携により、一人ひとりの栄養状態・身体状態・本人の食欲などを検討し、その利用者に合った食事提供をすることにより、健康管理に係わることができた。

② 療養食の実施

栄養マネジメントを実施し、その人の健康状態に合った食事提供ができ、健康管理に係わることができた。

□ 療養食の種類と人数（入所支援）

種類	糖尿食	胆石食	脂質異常食	合計
人数	5名	1名	5名	11名

③ バイキング食

利用者の様々な嗜好を給食部全員で把握し、全体メニューにできないどんな小さな要望であっても、その結果をできるだけ早く献立に取り入れるように対応した。

「実施日」： 毎週木曜日の昼食

「実施回数」： 令和元年度 41回

④ 選択食

2種類の献立の中から好きな料理を選んでいただき、食事に変化を持たせるとともに、選ぶ楽しみを作り出すように組み込んでいる。（主食・主菜のみ）

「実施日」： 毎週火曜日の昼食

「実施回数」： 令和元年度 48回

⑤ 麺類

利用者からの「麺類をもっと食べたい」という要望を聞いて取り組んでいる。

「実施日」： 毎週水曜日の昼食

「実施回数」： 令和元年度 51回

⑥ ひだまり工房の食事（昼食）

職員を通して、利用者の要望と嗜好の把握に努めている。さらにより良い食事の提供に心掛けている。

- 実施日：月曜日～土曜日
 - 料理：一汁三菜、 麺類：毎週水曜日
 - 特別食・治療食：利用者の摂食状況に合った食事提供（お粥食・代替食・治療食）
 - 行事食：旬の食材を提供
- 夏祭り：おにぎり・焼きそば・おでん・やきとり・冷凍パイナップル
クリスマス：お寿司・フライドチキン・ローストビーフ・ケーキ
ひな祭り：鉄火丼・菜の花からし和え・抹茶ゼリー

⑦ 行事食

□ 令和元年度の行事食

月日	行事	主な料理
4/28	花見	花見弁当
6/4	流しそうめん	流しそうめん、おにぎり、メロン、ジュース
7/7	第二うちがた夏祭り	おにぎり・焼きそば・おでん・焼き鳥・冷凍パイナップル
8/2	流しそうめん	流しそうめん・おにぎり・メロン・ジュース
8/13～15	お盆	赤飯・茶わん蒸し・じゅんさい・天ぷら・揚げ茄子・あなごちらし寿司・数の子・牛カルビ・昆布巻
9/12	十五夜	太巻き・だし巻卵・天ぷら・豚肉ママレード煮・きゅうり漬け・抹茶ゼリー・きのこ汁
10/31	お寿司の日	お寿司・茶わん蒸し・うどん・サラダ・果物
12/24	クリスマス	ピザ・寿司・サラダ・フライドチキン・牛ステーキ・ローストビーフ・エビとアボガドサラダ・コーンスープ
12/27	もちつき	おしるこ・きなこ・大福
12/31	大晦日	お寿司・煮しめ
1/1～3	正月	天ぷら・うなぎちらし・鉄火丼・だて巻き・けの汁・昆布巻き・茶わん蒸し・なます
3/3	ひな祭り	鉄火丼・菜の花からし和え・抹茶ゼリー
3/19	春彼岸	天ぷら・茶わん蒸し・うどの酢味噌・うどん・きゅうり漬け・あずきフルーチェ

⑧ 衛生管理

日常	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生手袋、盛りつけ、検食の保存 ・冷凍庫、冷蔵庫の温度管理 ・給食施設内温度、湿度管理 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・調理従事者の毎日の健康、衛生チェック ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール等の用具の分別 ・洗浄・漂白 ・調理台、配膳台、シンク、床の掃除、取っ手の除菌
週間	<ul style="list-style-type: none"> ・調理機器、側溝、検収室、勝手口等の掃除 ・食器棚、食品庫の整頓
月間	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍庫、冷蔵庫の清掃 ・検便
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除（2回） ・サッシ、網戸の掃除 ・ねずみ、昆虫の駆除

福祉総合相談センター

実施状況

障がいのある方やその家族を含めた地域住民のみなさんに寄り添い、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、地域に身近な「福祉よろず相談所」として日常生活全般に関する総合相談支援を行った。令和元年度において、地域づくりにつなげる事業は実施できなかった。

相談支援事業（指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業）

1 実施状況

① 指定一般相談支援事業

地域生活支援事業における障害者相談支援事業を五所川原市、つがる市、中泊町より事業を受託して実施した。利用者やご家族に対する福祉制度の説明やサービス利用に関する相談受け付け等、ニーズに合わせて支援を行った。地域移行支援及び地域定着支援における新規の対象者はいなかった。

② 指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

西北五管内の2市4町（五所川原市、つがる市、中泊町、鶴田町、鯨ヶ沢町、深浦町）のほか、管外市町の利用者に対してサービス等利用計画の新規作成や変更、及び定期的なモニタリングを行った。6月より相談支援専門員が4名（2名は兼務）体制となったため、丁寧な対応につなげることができた。令和元年度は221名（年度内の終了件数を含む）の支援を行った。

③ その他

つがる市及び五所川原市より障害支援区分認定調査を受託して実施した。また、つがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会の運営会議への参加や研修会、事例検討会等の定例会へも定期的に参加し、質の向上とネットワークの構築に努めた。

2 利用状況

① 相談方法（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	訪 問	来 所	電話（メール含）	その他	合 計
五 所 川 原 市	300	24	159	20	503
つ が る 市	223	21	111	11	366
中 泊 町	134	5	72	23	234
鶴 田 町	25	4	10	1	40
鯨 ヶ 沢 町	30	0	5	2	37
深 浦 町	11	0	3	0	14
そ の 他	22	0	11	1	34
件 数	745	54	371	58	1,228

② 相談者区分別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	本人	家族	関係機関	その他	合計
五所川原市	288	144	54	17	503
つがる市	256	64	30	16	366
中泊町	138	43	37	16	234
鶴田町	27	6	2	5	40
鱒ヶ沢町	30	0	7	0	37
深浦町	10	1	3	0	14
その他	22	0	12	0	34
件数	771	258	145	54	1,228

③ 相談内容別（サービス等計画作成に伴う相談も含む）

	障害福祉サービスの利用について	障害や病状の理解について	健康・医療について	その他	合計
五所川原市	431	5	18	49	503
つがる市	316	10	9	31	366
中泊町	186	5	12	31	234
鶴田町	37	0	0	3	40
鱒ヶ沢町	35	1	0	1	37
深浦町	11	1	0	2	14
その他	31	2	0	1	34
件数	1,047	24	39	118	1,228

④ サービス等計画作成件数（新規契約済み件数）

	五所川原市	つがる市	鶴田町	中泊町	その他	合計
障がい者	5	5	2	3	1	16
障がい児	2	0	0	0	0	2

⑤ 障害者支援区分認定調査実施状況

		視覚障害	内部障害	脳性麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	頸髄損傷	筋ジストロフィー	知的障害	精神障害	その他	合計	
つがる市	男	1	2	1	3	3	1	1	0	0	2	14	20
	女	2	2	1	0	0	0	0	0	0	1	6	
五所川原市	男	2	1	4	2	1	0	0	4	2	4	20	32
	女	0	0	2	1	0	1	0	1	1	6	12	

※ 五所川原市の中に徳島県からの委託分を含む

地域交流室『うるしかわ「みんなのひろば」』

1 実施状況

地域の中で気軽に活用できる「みんなのひろば」として貸出しを行った。令和元年度は、職能団体の活動や定期的な勉強会等の場として各団体から継続的に利用していただいたが、年度後半は新型コロナウイルス感染予防対策のため、貸し出しをいったん中止している。

「みんなのひろば」を活用していただくための周知活動としては、法人のホームページや機関誌を活用してPRを行っている。

2 利用状況

専門職団体、行政機関等への貸し出しを行い、研修会や話し合いの場として幅広く利用していただいた。令和元年度は25回、延べ356名の利用があった。

ケアホームうるしかわ

1 実施状況

- ① ひだまり工房と連携し、自己決定を尊重しながら日常生活全般において、安心・安全・快適に日々の生活を送れるよう支援。
- ② 第二うちがたのバックアップのもと利用者の健康管理や感染予防に努め、今年度も利用者への感染なく過ごすことができた。また、疾病時や定期受診時の通院の支援を実施。
- ③ 調理・洗濯・掃除等、日常生活における家事については、利用者個々の状態に合わせ、自分でできる事とできない事を見極めながら支援を行っている。
- ④ 五所川原社会福祉協議会の呼びかけにより、2名の利用者がケア付き立佞武多「夢かなえ隊」へ参加。
- ⑤ 利用者が安心・安全に使用できるよう、補装具の故障や破損、また必要に応じて各補装具の交付に伴う交付申請や修理申請の代行なども実施。
- ⑥ 外出や行事等は、利用者の要望に合わせた形で行っているが、計画通りの行事の実施には至らない部分もあった。

2 利用状況

① 年齢

年齢 性別	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	平均
男性	0	0	1	4	1	1	7	58.0
女性	0	0	0	2	0	1	3	59.6
合計	0	0	1	6	1	2	10	58.5

② 障害支援区分

区分 性別	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
男性	0	2	0	3	2	4.7
女性	0	0	0	1	2	5.6
合計	0	2	0	4	4	5.0

③ 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用人数	299	308	300	308	308	300	309	300	310	310	290	310	3,652	11
稼働率%	99.7	99.4	100	99.4	99.4	100	99.7	100	100	100	100	100		0.1

ひだまり工房

1 実施状況

- ① 喫茶店「ひだまり」では、かき氷・ドリップコーヒー・炭酸ジュースに加え、治療食の方向けにノンシュガーを加えたドリンクを提供。また、オリジナルケーキを加えたことでとても喜ばれている。
- ② 買物外出にコンビニを取り入れたところ、短時間で複数の方が利用でき、喜ばれる外出につながった。
- ③ 野菜作りで、水かけから草取り・収穫までを活動として進め、収穫野菜は皆で味わい楽しむことができた。
- ④ 生産活動について、乾燥野菜を進めているが、保存状態が悪く試行錯誤を試みて、安全な製品作りに向け進めている。

2 利用状況

① 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	訓練	合計
男性	0	0	3	1	4	5	1	14
女性	0	0	0	0	2	5	0	7
合計	0	0	3	1	6	10	1	21

③ 年齢別状況

	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上	合計
男性	0	0	2	3	6	2	1	14
女性	0	0	0	1	3	1	2	7
合計	0	0	2	4	9	3	3	21

⑤ 利用状況

	延べ利用者数			稼働日数	1日平均利用者数
	生活介護	自立訓練	合計		
4月	356	13	369	26	14.2
5月	371	13	384	27	14.2
6月	349	12	361	25	14.4
7月	367	12	379	27	14.0
8月	357	14	371	26	14.3
9月	347	12	359	25	14.4
10月	367	14	381	27	14.1
11月	353	13	366	26	14.1
12月	341	12	353	25	14.1
1月	336	12	348	24	14.5
2月	335	13	348	25	13.9
3月	350	13	363	26	13.9
合計	4,229	153	4,382	309	
月間平均	352	13	365	26	14.2

行事・外出・レクリエーション

① 第二うちがた

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	9日	書道クラブ	10名		1名
	25日	利用者の会役員会	5名		4名
	25日	紙芝居読み聞かせ「まじよさんまたあした」「元気がでるよ柏餅」	13名		3名
	28日	合同花見会（苜野公園）	19名	24名	27名
5月	7日	利用者懇談会	20名		9名
	9日	書道クラブ	8名		1名
	10日	買物外出（市内）	4名		4名
	14日	買物外出（エルム）	2名		2名
	16日	買物外出（市内）	1名		1名
	18日	買物外出（市内）	4名		4名
	21日	紙芝居読み聞かせ「おにさんこちら」「ひっぱりぬまのカッパ」	13名		5名
	23日	さわらびラーメン	29名	8名	19名
	25日	単独外出路上練習	2名		1名
	27日	単独外出路上練習	2名		1名
	28日	喫茶「もどき」	11名		1名
6月	30日	単独外出路上練習	2名		1名
	3日	利用者の会 BBQ 買い出し	2名		2名
	4日	利用者の会 BBQ・流しそうめん	26名		10名
		園芸クラブ外出	2名		3名
	6日	買物外出（市内）	3名		3名
		単独外出路上検定	3名		3名
	11日	書道クラブ	7名		1名
		買物外出（市内）	2名		2名
	16日	漆川町内会合同避難訓練	16名	6名	15名
	20日	紙芝居読み聞かせ「ゲン爺とカッパ」「ハロウィンのカボチャ」	14名		4名
25日	喫茶「もどき」	13名		1名	
※毎週土曜日 コンビニ外出		5名			
7月	2日	利用者懇談会	17名		
	4日	買物外出（エルム街周辺）	2名		2名
		カラオケクラブ	7名		1名
	7日	夏祭り	54名	102名	44名
	9日	上映会「三匹のこぶた」	8名		
	11日	ミニライブコンサート	22名		10名
	16日	体操教室	16名		5名
	18日	喫茶「もどき」	13名		1名
20日	コンビニ外出	2名		1名	
8月	6日	立佞武多運行参加・観覧	4名		5名
		喫茶「もどき」	11名		
	7日	利用者懇談会	20名		7名
	8日	ゲーム交流（麻雀・花札・トランプ）	9名		4名
	17日	カラオケクラブ	11名		1名
		俳句教室	3名		1名
	20日	利用者の会活動 獄きみを食べよう会	22名		
	24日	紙芝居読み聞かせ「かみしばいおに」「なしときょうだい」	12名		4名
27日	パフォーマンズ楽団「結」公演	20名		13名	
29日	上映会「8時だよ全員集合」	6名		1名	
9月	2日	つり外出	2名	2名	2名
	4日	カラオケクラブ	7名		1名
	10日	俳句教室	3名		1名
	11日	麻雀クラブ	4名		1名
	12日	書道クラブ	3名		3名
	19日	上映会「8時だよ全員集合」	8名		1名
	24日	交通安全運動マスコット配布	2名		3名
	28日	紙芝居読み聞かせ「待ちぼうけ」「きつねのつかい」	14名		
10月	2日	上映会「ドリフの大爆笑」	12名		1名
	5日	カラオケクラブ	6名		1名
		喫茶「もどき」	18名		
	8日	俳句教室	4名		1名
	9日	買物外出（エルム周辺）	2名		2名
		カラオケクラブ	8名		2名
	11日	買物外出（エルム周辺）	1名		1名
	12日	劇団スキップわくわく公演	21名		8名
	15日	買物外出（エルム周辺）	2名		2名
	18日	買物外出（エルム周辺）	1名		1名
19日	紙芝居読み聞かせ「つきよのおふる」「てぶくろ」	14名		1名	
23日	カラオケクラブ	6名		1名	

	24日	上映会「8時だよ全員集合」	7名		1名
	29日	ゲーム会(花札)	5名		1名
	30日	買物外出(エルム周辺)	1名		1名
11月	2日	劇団スキップわくわく公演	21名		8名
	5日	利用者懇談会	20名		6名
	6日	カラオケクラブ	8名		1名
	9日	上映会「ドリフの大爆笑」	9名		1名
	12日	俳句教室	5名		1名
	14日	書道クラブ	9名		1名
	21日	喫茶「もどき」	14名		
	26日	カラオケクラブ	7名		1名
12月	4日	クリスマスプレゼント買い出し	1名		2名
	5日	上映会「ドリフの大爆笑」	8名		1名
	7日	カラオケクラブ	4名		1名
	9日	カラオケクラブ	8名		1名
	10日	上映会「バカ殿」	8名		1名
	12日	麻雀クラブ	4名		1名
	14日	書道クラブ	6名		1名
	17日	麻雀クラブ 上映会「ドリフの大爆笑」	4名 8名		1名 1名
	21日	カラオケクラブ	5名		1名
	24日	クリスマス会・紙芝居読み聞かせ「まどからのおくりもの」	34名		18名
28日	もちつき会	34名	33名	26名	
1月	7日	麻雀クラブ 上映会「ボスベイビー」	3名 8名		1名 1名
	9日	書初め会 喫茶「もどき」	8名 11名		6名
	10日	上映会「ボスベイビー」	7名		1名
	11日	カラオケクラブ	8名		1名
	16日	利用者懇談会	23名		8名
	25日	紙芝居読み聞かせ「いったんもめん」「ねずみのおもちつき」	12名		5名
	30日	上映会「アナと雪の女王」	8名		1名
	2月	1日	カラオケクラブ	8名	
3日		節分	20名		6名
4日		麻雀クラブ	3名		1名
5日		上映会「アナと雪の女王」	7名		1名
6日		書道クラブ カラオケクラブ	9名 8名		1名 1名
11日		麻雀クラブ	3名		1名
13日		ゲーム大会(囲碁・オセロ・トランプ)	6名		2名
15日		カラオケクラブ	6名		1名
18日		カラオケクラブ	8名		1名
20日		麻雀クラブ	4名		1名
22日	紙芝居読み聞かせ「ニバスのふしぎなたび(前編・後編)」	10名		1名	
3月	2日	喫茶「もどき」	12名		
	3日	麻雀クラブ	4名		1名
	5日	利用者懇談会 利用者の会役員会	19名 4名		8名 1名
	8日	カラオケクラブ	8名		1名
	9日	上映会「ドラえもん」	9名		4名
	11日	防災研修(DVD上映)・非常食実食	22名		
	13日	カラオケクラブ	11名		1名
	14日	上映会「ドラえもん」 麻雀クラブ	12名 3名		1名 1名
	17日	上映会「ドラゴンボール」	8名		1名
	21日	紙芝居読み聞かせ「どんぐりと山猫」「オズの魔法使い」	16名		5名
	23日	カラオケクラブ	9名		1名
	24日	利用者の会総会	18名		9名
28日	麻雀クラブ	3名		1名	

② ひだまり工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月		ドライブ・買物外出	9名		9名
5月		ドライブ・買物外出	8名		8名
6月		ドライブ・買物外出	12名		12名
7月		ドライブ・買物外出	8名	4名	8名
		第二うちがた合同夏祭り	3名		5名
8月		ドライブ・買物外出	10名		10名
9月		ドライブ・買物外出	11名		11名
10月		ドライブ・買物外出	9名		9名
11月		ドライブ・買物外出	8名		8名
12月		クリスマス会	26名	1名	18名
2月		節分	15名		8名

③ ケアホーム

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	30日	花植え	5名		1名
5月	10日	買物外出(エルム)	1名		1名
	11日	買物外出(金木ノア)	1名		1名
	20日	買物外出(金木ノア)	1名		1名
	21日	買物外出(ジャスコ)	1名		1名
	22日	買物外出(エルム)	2名		1名
	31日	買物外出(金木ノア)	1名		1名
7月	7日	夏祭り(合同)	10名	3名	5名
8月	6日	立佞武多観覧	5名		3名
	7日	ケア付きねぶた参加	2名		2名
10月	3日	バーベキュー	10名		4名
11月	1日	買物外出(エルム)	1名		1名
	2日	買物外出(金木ノア)	1名		1名
	6日	買物外出(エルム)	1名		1名
	8日	買物外出(エルム)	1名		1名
	12日	買物外出(ジャスコ)	1名		1名
	15日	買物外出(エルム)	1名		1名
12月	24日	クリスマス会	10名		5名

1 実施状況

令和元年度事業計画に基づき、支援を必要とする高齢者が安定して暮らすことができるよう、制度の枠にとらわれず、ニーズに応じた多面的な相談業務を実施した。

① 居宅介護支援・介護予防支援

一人ひとりのニーズに則した居宅サービス計画書を作成するとともに、サービス事業所や病院との連絡調整、担当者会議等を実施した。

② 要介護認定に係る訪問調査

中泊町及び青森市から要介護認定調査を受託し実施した。

③ 研修参加

介護支援専門員としての資質向上を目指し、事業所内外の研修や勉強会に参加した。

④ 主任介護支援専門員の個別ケア会議への出席

中泊町地域包括支援センターで開催している地域個別ケア会議にて、中泊町介護支援専門員連絡会からの代表として出席。司会進行を行った。

④ その他

住宅改修に係る意見書を作成した。

ホームページなどで情報を発信することで、来所される家族・電話での相談。令和元年度は特に病院から直接、事業所への相談もあった。

その他、関係機関との連絡調整はもちろんのこと、緊急時の受診の付き添いや援助などもニーズに合わせて支援した。

2 事業実績

① 要介護度別利用者構成

	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	0	6	9	1	2	0	18
女性	6	0	0	15	11	8	1	2	37
合計	6	0	0	21	20	9	3	2	55

② 新規相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	1	8	0	2	3	1	3	4	2	3	4	32

③ 介護認定調査委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6	7	7	3	3	6	4	8	6	4	9	5	68

1 実施状況

住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、入浴や食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供した。

- ① 機能訓練指導員による個別プログラムに沿った機能訓練を実施している。また、訓練室に滑車運動、ペダル漕ぎ運動、ハドマー（波形型エアマッサージ器）・訓練用階段を設置することにより、利用者が積極的に取り組んでいる。
- ② 食事を美味しく、楽しく、そして安全に食べさせることができるように、昼食前の口腔体操を継続して実施している。また、選択食を実施して利用者に喜んでもらった。
- ③ 希望者を対象として花見や回転寿司への昼食外出を実施し好評を得た。

2 利用状況

① 介護保険被保険者

(延べ人数)

	介護保険被保険者								平均 要介護度	計	稼働日数
	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	60	26	109	189	150	37	16	14	1.5	601	26
5月	57	42	113	193	152	51	25	14	1.5	647	27
6月	47	44	98	147	172	52	40	12	1.6	612	25
7月	60	40	109	168	162	52	54	18	1.7	663	27
8月	37	31	101	153	177	53	45	18	1.7	615	26
9月	44	30	85	161	170	53	39	16	1.7	598	24
10月	59	37	107	159	208	51	31	16	1.6	667	27
11月	46	27	105	160	180	53	43	18	1.7	632	26
12月	53	33	114	142	166	49	55	17	1.7	629	25
1月	53	31	114	138	158	50	45	16	1.7	605	23
2月	54	26	124	131	167	66	56	15	1.7	639	25
3月	56	26	127	133	173	90	59	17	1.8	681	26
合計	626	393	1,306	1,874	2,035	657	507	191	1.7	7,589	307

② 障害者総合支援法による利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	6	8	4	0	0	5	8	9	7	8	7	5	67
合計	6	8	4	0	0	5	8	9	7	8	7	5	67

③ 介護度・区分別登録者数

	～64		65～69		70～74		75～79		80～84		85～89		90～94		95～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	1	0	0	0	1	12
要支援1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	2	0	0	0	1	2	7
要支援2	0	0	0	1	1	0	2	3	0	2	1	4	0	2	0	0	4	12
要介護1	0	0	0	0	1	2	1	1	2	2	2	4	0	5	0	0	6	14
要介護2	1	0	1	0	0	1	2	1	1	2	2	0	0	3	0	0	7	7
要介護3	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	4	2
要介護4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	4	2
要介護5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
障がい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	2	1	5	1	4	4	6	6	4	16	7	16	2	12	0	1	87	

1 実施状況

- ① 季節ごとに感染症予防や健康・生活に関する注意喚起を行い、利用者の健康な生活維持に努めた。その他、生活に関わることは関係機関と連携・協力し、利用者一人ひとりの生活を豊かにすることができた。
- ② 福祉ホーム入居者は、高齢化や重度化が進み、身体機能の低下や認知機能の低下がみられてきた。低下している原因を分析し、支援内容を見直しながら、本人らしく自立した生活ができるよう、法人内の各サービス事業所や関係機関と連携をして支援を実施した。
- ③ 在宅サービス利用者は個別性を重視。その人らしく生活ができるよう、職員一人ひとりがスキルアップするため研修に参加。職員自らが講師となり、職場内研修を実施して啓発に努めた。
- ④ 職員が安全・安心して訪問が行えるよう、定期的にミーティングを実施して業務内容を見直した。また、全員がリフレッシュ休暇を取得した。

2 利用状況

① 指定訪問介護事業（介護保険） (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	43	29	38	33	38	26	49	40	38	87	85	104	610

② 訪問型独自サービス（介護保険）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	9	8	9	9	9	8	9	9	13	13	13	13	122

③ 指定居宅介護事業（障害者総合支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	663	695	667	661	667	669	723	720	706	657	575	614	8,017

③ 介護度・区分別登録者数

	障がい	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	12	0	0	0	0	1	0	1	0	14
女性	1	0	0	1	4	2	0	1	0	9
合計	13	0	0	1	4	3	0	2	0	23

1 実施状況

- ① 個別や少人数での外出を行い、一人ひとりのペースが尊重でき、ストレス解消や心身機能の活性化につながる有意義な時間を提供することができた。
- ② 地域全体をカバーできるよう、送迎範囲を広げてサービス提供した。
- ③ 敷地内で野菜作りを行い、水やりから収穫までを活動として進めた。
- ④ エコキャップ活動は、地域のボランティア活動に結びついてきている。地元の学校や地域の人からの協力を得て、ペットボトルキャップ約 78,000 個を収集することができた。(97 人分のポリオワクチンに相当する)
- ⑤ 生産活動として、なたね・ひまわり油の生産販売を行っている。搾油作業は、安全に注意を払い、一人ひとりに合わせた作業を実施。また、勤労意欲の向上や自立生活を目的とした支援プログラムの提供を進めた。
- ⑥ 創作活動や生産活動の労をねぎらい、前庭で行ったサンマ炭火焼と本格的な流しソーメンは、とても好評であった。
- ⑦ 地域との交流につながる活動として、地元の高校生や地域住民と協働で行った「農地の環境保全と明るい町づくり」のひまわり栽培。地域住民の老若男女が多数参加した「ケッパレ薄市秋祭り」を実施した。

2 利用状況

① 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活介護	240	290	270	289	271	269	259	240	224	223	204	233	3,012	251
自立訓練	23	25	24	27	26	24	45	46	48	46	42	49	425	35.4
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	22	20	23	268	22.3
1日平均	12.0	13.7	13.4	13.7	12.9	13.3	13.2	13.0	11.8	11.9	12.3	11.8	12.8	

② 障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	1	3	7	3	2	1	17
女性	0	0	2	1	2	0	0	5
合計	1	1	5	8	5	2	1	22

令和2年3月現在

地域密着型特別養護老人ホーム きりん館

特別養護老人ホーム きりん館

1 実施状況

① 地域との関わり

近隣のこども園・小学校・中学校・高等学校からの行事の案内や交流授業などの申し入れが前年度より多くなった。またボランティア対馬てみさんによる読み聞かせと唄、中里高校生徒による奉仕活動、中里三味線会慰問等、年々交流が深まり、地域密着型サービスとして地域との関係づくりが進んできた。しかし、新型コロナウイルス感染予防対策として、人が集まることを自粛している。

③ 感染予防対策

利用者からのインフルエンザやノロウイルスなどの感染症発症が認められていない。また、2月末からは新型コロナウイルス感染予防対応に力を注いだ。

④ 運営推進会議

2カ月に1回、年6回開催し、サービス内容及び活動状況の報告をして評価や助言をいただくことで、地域に開かれた施設運営と、サービスの質の向上を図ることができた。

2 利用状況

① 介護老人福祉施設入所者生活介護（定員 29 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	841	866	869	899	881	862	855	856	867	894	844	880	10,414	867.8
入院日数	12	27	0	0	11	7	61	11	13	1	21	28	192	16.0
外泊日数	7	6	1	0	7	1	0	1	1	4	0	0	28	2.3
稼働率 (%)	96.7	96.3	99.9	100	98.0	97.7	96.9	97.5	97.8	98.2	100.4	97.9		98.3

② 年齢

年齢 性別	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均
男性	0	0	3	1	2	1	0	0	7	83.7
女性	0	1	1	7	6	6	0	1	22	86.5
合計	0	1	4	8	8	7	0	1	29	85.8

③ 要介護度

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	2	3	2	7
女性	0	3	7	6	6	22
合計	0	3	9	9	8	29

④ 退所区分

	死亡	入院	その他	合計
平成 30 年度	2	1	0	3
令和元年度	4	1	0	5

きりん館 短期入所

1 実施状況

- ① 介護保険法による特別養護老人ホーム併設型ユニット型短期入所事業を行い、専用居室 6 室を整備している。
- ② 中泊町、五所川原市在住の方々、延べ 81 人、1,162 日の利用があった。

2 利用状況

① 短期入所生活介護、予防短期入所生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	96	118	96	76	94	146	115	30	90	110	101	90	1,162	96.8
稼働率	53.3	58.6	53.3	40.9	50.5	81.1	61.8	13.9	48.4	59.1	58.0	48.4		52.3

② 年齢

性別	年齢					合計	平均
	65～69	70～79	80～89	90～99	100～		
男性	0	1	10	0	0	11	83.5
女性	0	1	13	8	0	22	88.0
合計	0	2	23	8	0	33	

③ 要介護度

	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	3	3	2	2	3	0	13
女性	1	1	4	4	5	4	19
合計	4	4	6	6	8	4	32

きりん館 医務

1 実施状況

- ① 感染予防対策の実施・指導
- ② 結核検診の実施
- ③ 職員の健康管理についてのアドバイス・指導
- ④ 看取り介護の実施

2 評価

- ① インフルエンザ流行時期の集団感染を予防し、嘱託医やかかりつけ医と連携を図りながら、病気の早期発見・早期治療に努めることができ、利用者の苦痛緩和につなげていくことができた。
- ② 看取り介護への移行者は現在 7 名、今後も家族・医師・介護・給食と連携しながら穏やかな終末期を過ごせるよう支援する。

障害者福祉ホーム きりん館

1 実施状況

今年度は入・退居がなく、11名の入居者がホームヘルプサービスやうちがた工房の生活介護・機能訓練サービスを利用して、利用者一人ひとりの自己決定による生活を保障し、地域で自立した生活を送れるよう支援した。

2. 利用状況

年齢 性別	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	合計	平均
男性	0	2	2	6	0	10	58.5
女性	0	0	0	1	0	1	62.0
合計	0	2	2	7	0	11	58.8

3. 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均
男性	1	0	5	1	2	1	10	3.6
女性	0	0	1	0	0	0	1	3.0
合計	1	0	6	1	2	1	11	3.8

中泊町地域包括支援センター

中泊町地域包括支援センターは、高齢者などが住みなれた地域で安心してその人らしい生活ができるよう「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進し支援を行った。また、飛び地である小泊地域住民が相談しやすいように、小泊地域は中泊町地域包括支援センターこども支所を拠点にした。

当法人は中泊町から委託を受け、主任介護支援専門員、介護支援専門員、社会福祉士など 8 名のスタッフを派遣している。

1 実施状況

① 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

65 歳以上の全ての高齢者に、年齢や心身の状況などに関わらず、要介護状態となっても生きがいや役割をもって生活ができる地域づくりを目指し必要な支援を行った。

■ 住民運営の通いの場「いきいき百歳体操」の立ち上げ支援・継続支援

体操などを行う住民主体の通いの場の立ち上げ支援のためのプレゼンテーションを行った。また、現在活動している 9 か所の継続支援を行った。

■ 出張まめしい教室

地区集会所にて、介護予防教室（口腔機能向上・栄養指導・認知症予防・ストレッチ体操等）を、1 集会所にて行った。

② 包括的支援事業（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務）

介護相談にととまらず様々な相談に応じ適切に保健・医療・福祉サービス機関や制度の利用につなげる支援を実施した。高齢者の虐待などの事例を把握した場合は町と連携し速やかに対応・支援を行った。警察署からの情報提供が 2 件、被虐待者や家族等からの相談を 8 件受け、高齢者虐待の疑いありで情報収集を行い、うち 7 件高齢者虐待の事実を認めた。警察署からの通報 2 件は福祉課担当者と同行訪問を行い、モニタリングを行い終結とした。他 5 件については、高齢者を保護するため施設入居や介護サービス利用増などを行い終結とし、権利擁護対応や包括的継続的ケアマネジメントにて支援をしている。

中泊町介護支援専門員連絡会（介護支援専門員を対象）を 4 回開催し、行政との連絡調整や勉強会・研修会を開催し、平均 8 名の参加者があった。

③ 地域ケア会議の推進

地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交え、個別事例の分析を通じてその解決とともに地域に共通した課題を明確にし、必要な支援策や基盤整備につなげるために、地域ケア会議を開催した。

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

介護予防が必要な人（要支援 1・2・事業対象者）に対して、その人に合った介護予防計画を作成した。

⑤ 認知症施策の推進

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断や早期発見に向けた支援を行う認知症初期集中支援チームを設置し、1 名に対応をした。また、認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに 3 名配置され、認知症の理解促進のため、小学生や金融機関などで認知症サポーター養成講座の開催や住民に対して町の認知症施策について啓蒙活動を行った。

⑥ その他

中泊町町民祭（中里・小泊地域）では地域住民を対象に、福祉用具・介護用品の展示・紹介及び選定の助言などを行った。また、地域に出向き出前講座等を 1 回開催した。

2 事業実績

① 相談

■ 相談件数（延べ）

単位：件

来所	中里（129） 小泊（33）	192
電話	中里（725） 小泊（59）	869
訪問		572
その他		262
合計		1,895

■ 相談者の区分（延べ）

単位：件

本人	592
家族	568
介護サービス事業所	192
行政機関	194
警察・消防署	8
社会福祉協議会	35
民間事業者	7
医療関係機関	220
民生児童委員	5
近隣・知人	20
その他	54
合計	1,985

■ 相談内容（延べ）

単位：件

介護・日常に関する相談	192
介護保険、サービス利用に関する相談	874
医療に関する相談	244
所得・家庭生活に関する相談	22
権利擁護に関する相談	25
高齢者虐待に関する相談	33
障害サービスに関する相談	5
苦情相談	7
その他	941
合計	2,343

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援

■ 中泊町介護支援専門員連絡会

第1回	平成31年度事業計画など
第2回	勉強会：「高齢者虐待 これって虐待なの？」
第3回	事例検討会：「自宅で安心して一人で入浴したいと思っている人への支援方法」
第4回	事例検討会：「受診が必要そうな状況でも、本人が受診をしない時にどう対応したら良いか」

③ 会議などへの参加

地域関係者主催の会議	32
地域密着型運営推進会議(新型コロナウイルス感染予防のため書面会議6回あり)	50
民生・児童委員定例研修会	20
合計	102

④ 地域ケア会議の充実

■ 中泊町地域ケア会議の位置づけ

会議の名称	会議の機能				
	個別課題 解決機能	ネットワーク 構築機能	地域課題 発見機能	地域づくり 資源開発機能	政策提言機能
1 地域ケア個別会議	○	○			
2 地域ケア推進会議		○	○	○	
3 地域ケア運営会議		○	○	○	○

■ 地域ケア個別会議（個別ケースの課題解決）

第1回	テーマ「治療費を含んだ生活を維持するための金銭管理」
第2回	テーマ「現在関わっている有料老人ホームのスタッフやヘルパーと新たな関係性を築くにはどう対応したら良いか」
第3回	テーマ「服薬管理が不適切な状態にあるが助言に応じない利用者への対応について」
第4回	テーマ「独居で身元引受人がない状態で終活を考えている利用者への対応について」

■ 地域ケア推進会議（関係者で地域課題の共有・解決方法の検討、研修会の開催）

第1回	平成31年度地域ケア会議システム概要説明 グループワーク：「これからの自立支援～利用者自身の自己実現を考える」
第2回	グループワーク：「これからの自立支援パートⅡ～本人目線から考える自立支援」
第3回	中泊町認知症初期集中支援チームの説明と現状 グループワーク：「認知症になっても大丈夫！」（30分カンファレンス手法を用いる）

■ 地域ケア運営会議（町の課題と町への提案を整理・決定する）

	審議事項	決定事項
第1回	介護サービス事業所など職員を対象としたリハビリ専門職による勉強会の開催	リハビリ専門職による勉強会の企画実行委員会を立ち上げ決定
第2回	新型コロナウイルス感染予防のため中止	

⑤ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント（要支援者・事業対象者に対して予防支援を行った）

■ ケアプラン数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	49	46	49	49	51	51	53	54	53	51	51	51	608
ケアマネジメントA	123	122	117	117	115	114	111	106	113	109	104	102	1,353
ケアマネジメントB	7	7	8	7	8	8	8	9	9	7	7	7	92
委託	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
合計	180	176	175	173	174	173	172	169	175	167	163	161	2,058

※ ケアマネジメントA：指定介護予防支援と同様のケアマネジメント

※ ケアマネジメントB：利用者の状況などにあわせて簡略化したプロセスでのケアマネジメント

行事・外出・レクリエーション

① 特別養護老人ホーム きりん館

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	6日	薄市小学校入学式	1名		1名
	17日	誕生会・バンキング食	28名	4名	
	24・25日	花見会（芦野公園）	9名		9名
5月	8日	買物外出（ピュア）	4名		4名
	10日	おやつ買物外出	1名		2名
	17日	買物外出（ピュア）	2名		2名
	24日	出張販売	15名		
	26日	薄市小学校運動会	3名		3名
6月	8日	薄市こども園運動会	5名		3名
	21日	中里高校体育祭	3名		2名
	23日	賽の河原大祭外出	3名		2名
	26日	誕生会・バイキング食	30名	2名	
7月	10日	買物・食事外出（しまむら・かっぱ寿司）	2名		2名
	12日	買物外出（中里ベル・ハッピードラッグ）	1名		2名
	17日	買物・食事外出（しまむら・かっぱ寿司）	2名		2名
	30日	出張販売	12名		
8月	11日	なかさと祭り外出	2名		2名
	14日	薄市盆祭り	1名		2名
	20日	おやつ買物外出（ベル）	1名		2名
9月	6日	おやつ買物外出（ベル）	1名		2名
	14日	薄市秋祭り	20名		12名
	18日	おやつ買物外出（ベル）	1名		2名
	25日	おやつ買物外出	1名		2名
10月	2日	薄市こども園お遊戯会リハーサル鑑賞	10名		6名
	3日	おやつ買物外出（ベル）	1名		2名
		避難訓練・不審者対応訓練	26名		
	18日	水害避難訓練	33名		
	19日	薄市小学校学習発表会	3名		3名
	23日	誕生会・バイキング食	30名	3名	
11月	2日	読み聞かせ外出	3名		3名
	4日	おやつ買物外出（ベル）	1名		2名
	13日	薄市こども園来館：お遊戯等	30名		
12月	3日	おやつ買物外出（ベル）	1名		2名
	14日	クリスマス会	35名	20名	
1月	18日	薄市小学校もちつき会	3名		3名
		おやつ買物外出（ベル）	1名		2名
	31日	出張販売	10名		
2月	3日	節分豆まき（各ユニット）			
	10日	おやつ買物外出（ベル）	1名		2名
	15日	中里三味線会	30名		
	19日	誕生会・バイキング食	30名	1名	

② 地域福祉部 デイサービス

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4月	22日	花見外出(芦野公園)	6名	2名
	23日	花見外出(芦野公園)	3名	3名
	24日	花見外出(芦野公園)	13名	3名
6月	17日	昼食・買物外出(ピュア)	11名	3名
	18日	昼食・買物外出(ピュア)	9名	3名
	19日	昼食・買物外出(ピュア)	10名	2名
7月	22日	買物外出(金木ノア)	4名	2名
	23日	買物外出(金木ノア)	4名	2名
	24日	買物外出(金木ノア)	6名	2名
8月	7日	買物外出(金木ノア)	7名	2名
	8日	買物外出(金木ノア)	2名	1名
	10日	買物外出(金木ノア)	3名	1名
9月	14日	ケツパレ薄市秋祭り	46名	9名
	16日	買物外出(マエダ中泊店)	4名	1名
	17日	買物外出(マエダ中泊店)	3名	1名
	18日	買物外出(マエダ中泊店)	5名	1名
10月	18日	昼食外出(かっぱ寿司)	21名	4名
	25日	昼食外出(かっぱ寿司)	18名	4名
12月	24日	買物外出(金木ノア)	5名	3名
	25日	買物外出(金木ノア)	7名	2名
	26日	買物外出(金木ノア)	3名	2名
1月	14日	新年会	28名	8名
	15日	新年会	29名	7名
	16日	新年会	26名	7名
	25日	繭玉作り	27名	8名

③ 地域福祉センター うちがた工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4月	19日	焼き芋会	10名	4名
5月	4日	焼きパン作り	10名	3名
6月	8日	買物外出	10名	3名
	23日	流しそうめん	10名	3名
7月	7日	バーベキュー	11名	3名
8月	24日	買物外出	10名	4名
9月	8日	ケツパレ薄市秋祭り		5名
10月	29日	バーベキュー	9名	4名
	31日	サンマ炭火焼き	8名	3名
11月	16日	買物外出	13名	4名
	26日	ホットケーキ作り	9名	3名
12月	7日	買物外出	8名	4名
1月	18日	新年会、すき焼き	8名	4名
2月	29日	買物外出	10名	3名
3月	7日	たご焼き、お好み焼きパーティー	10名	3名